

2025 年 11 月 28 日

1 2026 年 3 月期 中間期の連結業績（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

（百万円未満切捨て）

（1）連結経営成績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益
2025 年 9 月中間期	百万円 66,300	百万円 4,662	百万円 4,883	百万円 3,100

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025 年 9 月中間期	百万円 162,052	百万円 104,140	% 61.9

（注）連結子会社は 19 社

2 2026 年 3 月期の連結業績予想（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
通 期	百万円 % 140,000 △1.3	百万円 % 8,800 △17.8	百万円 % 9,300 △17.8	百万円 % 6,100 △17.6

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

3 当中間期における事業の概況および下期の見通し

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調で推移していますが、物価高による個人消費への影響や海外情勢の変動等により、依然先行きが不透明な状況となっております。

当社グループが属する建設業界におきましては、公共投資、民間建設投資ともに堅調に推移しているものの、鋼材価格や燃料費の高止まりや労務費が上昇していることもあり、収益面では予断を許さない状況が続いています。

こうした中、当社グループは各事業領域における競争優位の維持・強化に加え、適正な価格転嫁の推進や業務効率化に努めてまいりました。その結果、中間連結会計期間の連結業績は、売上高 663 億円、営業利益 46 億 62 百万円、経常利益 48 億 83 百万円、親会社株主に帰属する中間純利益 31 億円となりました。

当下半期の見通しとしましては、引き続き建設投資は堅調に推移するものと想定しており、売上高 1,400 億円、営業利益 88 億円、経常利益 93 億円、親会社株式に帰属する当期純利益 61 億円を見込んでおります。

以 上